

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告 「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。



注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気を付けていただく内容です。

警告

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

■異常があったときは電源プラグを抜いてください

- 煙が出たり、異常な臭いや音がする
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある



電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- 電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

■故障した本機には手で触れないでください



感電の原因になることがあります。

■異物を入れないでください

本体内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。

■装置を操作するときは、可動部分に手を近づけないでください。



事故を引き起こし、重傷を負うおそれがあります。



警告

電源コードについて

- 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください



付属以外の電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。

- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください



ショートや発熱により、火災や感電の原因になることがあります。

- 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などでショートし火災・感電の原因となります。
●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電の原因となります。

ぬれ手
禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外では使用しないでください



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

- 電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクタ（本体側）は、根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントのまま使用しないでください。

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など



ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

- 破損した電源コードや電源プラグには手で触れないでください



感電やショートによる火災の原因になることがあります。

- 本機は、必ず、電源プラグを保護接地があるコンセントに接続してください

- アースは確実に行ってください



感電の原因となります。本機の電源プラグはアース付き3芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に接続を行いご使用ください。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。

警告

■設置は工事専門業者にご依頼ください



設置が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

■付属のネジ、およびスクリューなどは乳幼児の手の届くところに置かないでください



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときはすぐに医師にご相談ください。

■雷が鳴りだしたら本機や電源プラグには触れないでください



感電の原因となります。

接触
禁止

■上に水などの液体が入った容器を置かないでください

(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体が入った容器)



水などの液体がこぼれ、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

■ぬらしたりしないでください



火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

■風呂場、シャワー室などでは使用しないでください



火災・感電の原因となります。

水場使用
禁止

■不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■振動が少なく、本機の質量に耐えられる場所に設置してください



倒れたり、落ちたり、けがや故障の原因となります。

■裏ぶた（キャビネット）を外したり、改造したりしないでください



分解
禁止



感電のおそれあり

サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一触ると危険です。

「本体に表示した事項」

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

注意

■上に物を置かないでください



倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■本機や据置きスタンドに乗ったり、ぶら下がったりしないでください



倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

- 特に、小さなお子様にはご注意ください。

■湿度の高い所、湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください。



火災・感電の原因になることがあります。

■電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）を持って抜いてください。



コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショートによる火災の原因となることがあります。

■移動させる場合は、電源コードや機器の接続線、転倒防止具を外してください



コードや本機が破損し、火災・感電の原因となることがあります。

■接続ケーブルの処理は確実に行ってください



ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

■日光、火などの過度な熱にさらさないでください



取り扱いを誤ると、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■長時間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

電源
プラグを
抜く

■開梱や持ち運びは2人以上の人数で行ってください



落下してけがの原因になることがあります。

■ケーブル類は丁寧に扱ってください



結束バンド（インシュロック等）を使用して、配線を可動部品から離れた場所に固定して下さい

注意

- 装置を移動させるときには、装置を最も低い位置に下げてから、ハンドルを使用して移動させてください



地震やお子様がよく登ったりすると、転倒・落下しけがの原因となることがあります。

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



感電の原因となることがあります。

電源
プラグを
抜く

- 接続ケーブルを引っ張ったり、ひっかけたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください



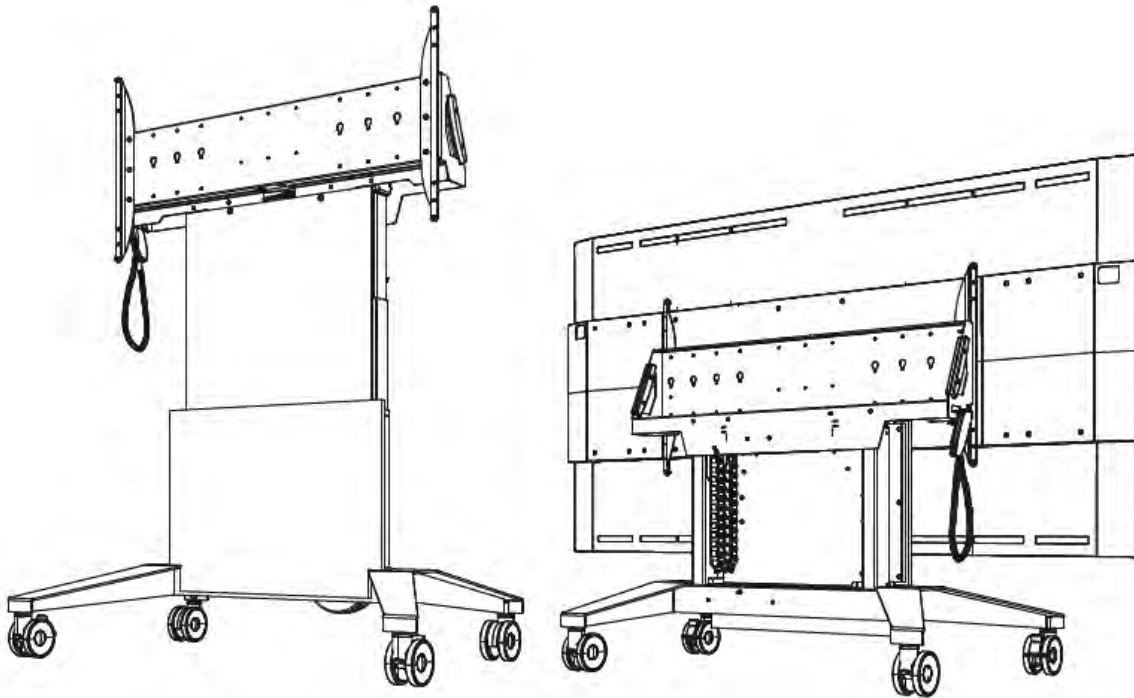
FPS1XL/EL/GG 取扱説明書



ADA(準拠)

FPSシリーズ

移動式インタラクティブ
ディスプレイスタンド



最大積載量

重量136kg(300lbs)までのほとんどのディスプレイを搭載可能

VESA取付規格準拠

水平方向 - 400~1,300mm (100mmピッチ)

垂直方向 - 100~600mm (100mmピッチ)

お問合せ先

Salamander社製品 正規輸入販売代理店
株式会社ケイアイシー 営業企画課

東京都新宿区新宿1-28-11

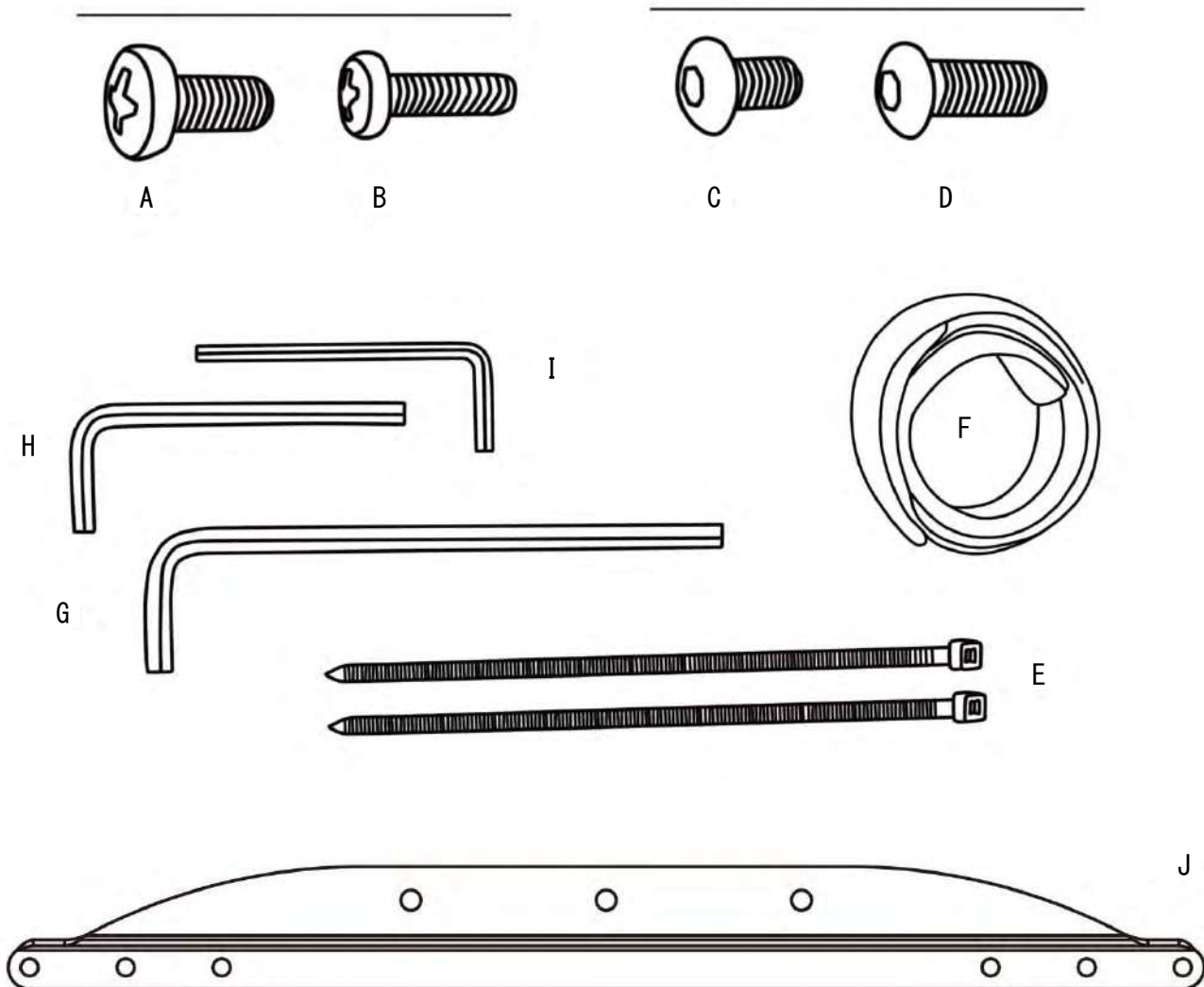
TEL: 03-3357-4839



FPS1XL/EL/GG
E479586

付属品

記号	説明	数量
A	M8 L=16mmナベ頭プラスネジ	4
B	M6 L=20mmナベ頭プラスネジ	4
C	W1/4 六角穴付きボタンネジ L=9.5mm(ディスプレイ金具用)	6
D	W5/16 六角穴付きボタンネジ L=19mm(脚部の取付用)	12
E	結束バンド(インシュロック等)	4
F	ベルクロテープ	3
G	W3/16 六角レンチ(径=5mm)	1
H	W5/32 六角レンチ(径=4mm)	1
I	W1/8 六角レンチ(径=3mm)	1
J	ディスプレイ金具	2



警告



警告！ 記載の指示に従わなかった場合、事故を引き起こし、重傷を負うおそれがあります。
指示を守らなかった場合には、製品が損傷または破損するおそれがあるほか、保証が無効になる場合があります。



警告！ 使用するモニターの重量は136kg(300lbs)以下にしてください。
耐荷重を超える機器を使用するとぐらつきの原因になり、負傷事故や死亡事故を引き起こすおそれがあります。



重要な安全上の注意事項

電気機器を使用するときには、次の基本的な使用上の注意事項を必ず守ってください。



警告 装置を操作するときには、可動部分に手を近づけないようにしてください。

注意！ ケーブル類は丁寧に扱ってください。ケーブルタイを使用して、配線を可動部品から離れた位置に固定してください。



警告 子供が製品を作動させたり、触ったり、登ったり、遊んだりしないよう、子供は常に監視してください。

注意！ 装置を移動させるときには、装置を最も低い位置に下げた後、ハンドルを使用して移動させてください。



警告 火傷や火災、感電またはその他の負傷事故を防止するため、次のことに注意してください。

- 必ず室内の乾いた場所で使用してください。
- 業務用途以外でのご使用はしないでください。
- 取り付け時や移動時または保守点検をするときには、電源を切り離してください。
- 部品の取り付けや取り外しを行うときには、事前にコンセントからプラグを抜いてください。
- 子供や病人または障害を持つ人が近くにいる場合は、この機器を使用時に十分注意してください。
- この装置は必ず本書に記載された用途で使用してください。取り付け部品は製造者が推奨したもの以外は使用しないでください。
- 電源コードは踏みつけたり挟んだりしないよう、保護してください。
- コードは高温表面から離しておいてください。
- 開口部に物を落としたり、入れたりしないでください。
- 噴霧剤(スプレー)を使用した場所、または酸素を使用した場所では作動させないでください。
- 装置に液体を落としたり飛沫をかけたりせず、この装置の上に液体の入ったカップや花瓶などの物を置かないでください。
- 雷雨のときまたは長期間にわたって使用しないときには、装置のプラグを抜いてください。
- コードまたはプラグに損傷がある場合、正常に作動しない場合、落下させた場合または損傷がある場合には、決してこの装置を使用しないでください。
- 装置から異音または異臭が発生する場合には、直ちに主電源を落としてください。
販売元へご連絡ください。

電気的特性

入力: 90V~240V、48Hz~63Hz

動作: 最大10% 2分/18分

本製品の連続使用時間

連続使用時間は、負荷には関係なく、連続で最大2分、もしくは短時間定格では6分間使用可能です。超過するとモーターが過熱するので、決して超えないようにしてください。

記載の連続使用時間を超えると、システムの耐用期間が大きく減少することになります。モーターコントロールシステムは、次の部品で構成されています。

- コントロールボックス 1個
- 伸縮アクチュエーター 2個
- 交換式電源ケーブル 1個
- モーター用ケーブル 2個
- 有線式リモートコントロール 1個

トラブルシューティング／モーターコントロールシステムの初期化

モーターコントロールシステムに不具合が発生した場合には、次の作業を行ってください

システムを初期化するときには、下向きボタンを1回または2回押します。

押したままにしますと、ユニットが最終位置に移動した後、自動的に約3mm戻り、それからゆっくりと最終位置になります。



動作が完全に停止してから、下向きボタンを離してください。この動作が完了する前にボタンを離した場合には、初期化は中断されるため、最初からやり直す必要があります。初期化を開始するために、下向きボタンを2回押さなくてはならない場合があります。システムが別のモードになっている場合に、この動きが必要となります。

警告:感電のリスク - 装置は必ず適切にアースされたコンセントに接続してください。

有極性プラグまたはアース付きプラグの安全機構を無効化させないでください。

有極性プラグには2個のブレードがあり、一方はもう片方よりも幅が広がっています。アース付きプラグは、2個のブレードの他にアース用端子が付いています。ブレードやアース用端子は、安全のために用意されたものです。

付属のプラグがコンセントに差し込めない場合は、旧型コンセントに適した代替品について電気技師に相談してください。

ACプラグのアース端子を無効化するようなプラグアダプタは、使用しないでください。



警告:この装置を接続したコンセントに、過大な負荷がかけないでください。この装置自体にも、過大な負荷をかけないでください。

装置にかかる負荷の合計数値が、本書記載の数値を超えないようにしてください。

メンテナンス



- 危険！感電のリスクを抑えるために - 清掃するときには必ず装置のプラグをコンセントから抜いてください。
- 定期的に機器外部外部のほこりや汚れを乾いた布で清掃し、損傷がないか確認してください。
- 接続部やケーブル類およびプラグ類を検査の上、正常に機能しているか確認し、合わせてモニターの固定部分も点検してください。

修理



- 整備作業はすべて正規の整備担当者が行うようにしてください。電源コードまたはプラグが損傷した場合、装置に液体がかかった場合や物が落ちた場合、装置が雨や水分で濡れた場合、正常に作動しない場合、または落下させた場合などで、装置に何らかの損傷があった場合には、整備が必要になります。
- この装置には使用者が整備できる構成部品はありません。この装置のカバーを取り外すと、感電の危険があるほか、保証が無効となることがあります。

*******本書は捨てないで保管してください*******

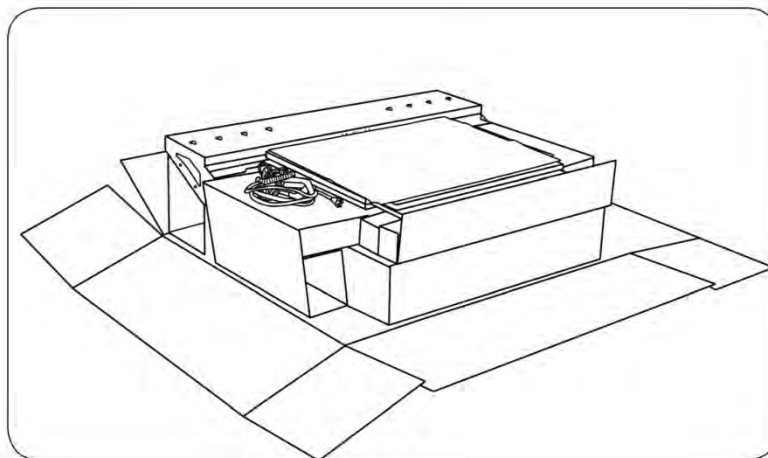
アクセサリとスペアパーツについて

Salamander Designs社 正規輸入代理店 株式会社ケイアイシーまたは、ご購入いただいた販売店様までお問い合わせください

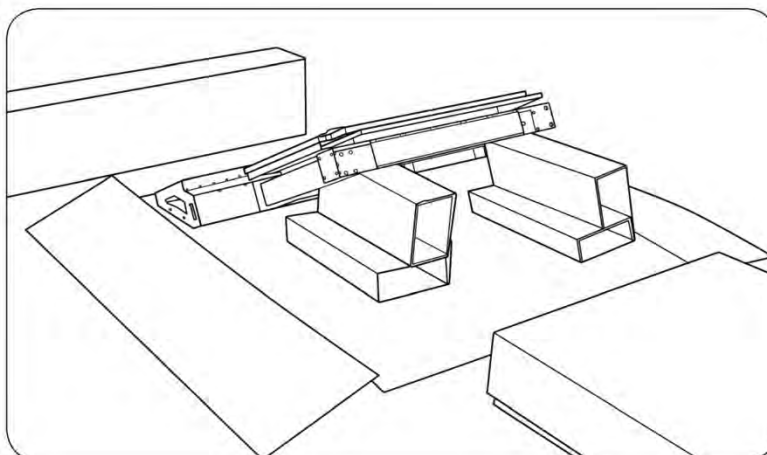
組み立て

開梱と脚部の取り付け

箱を横に開いて平らにします。

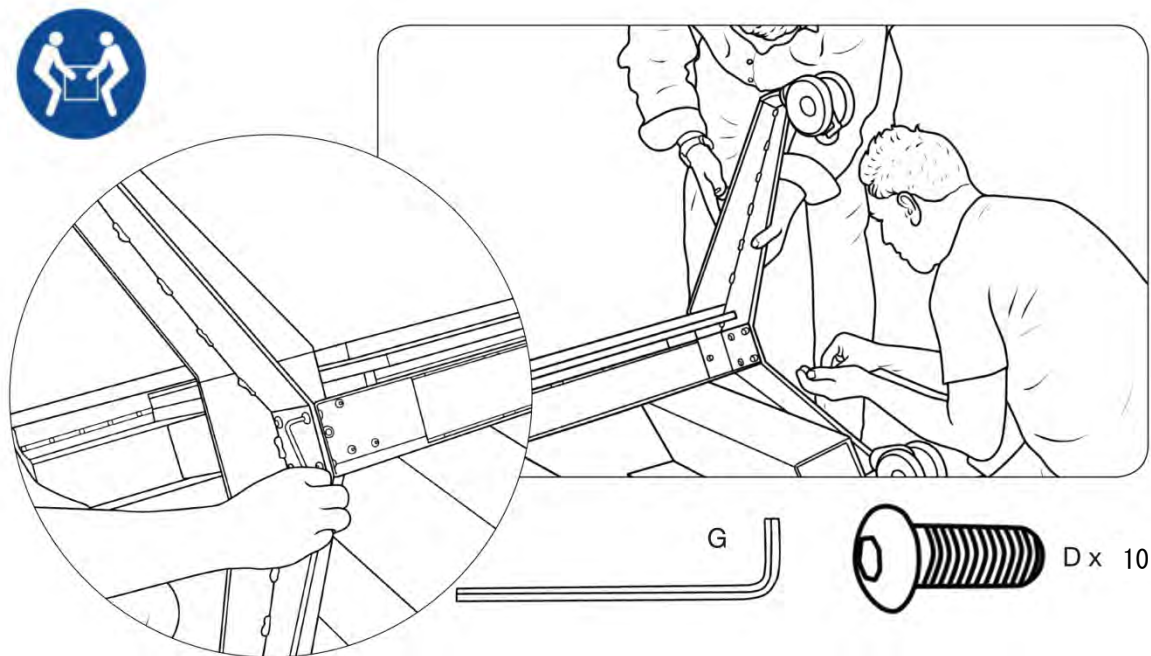


箱のサポート部で、ユニットのベース部を支えます。

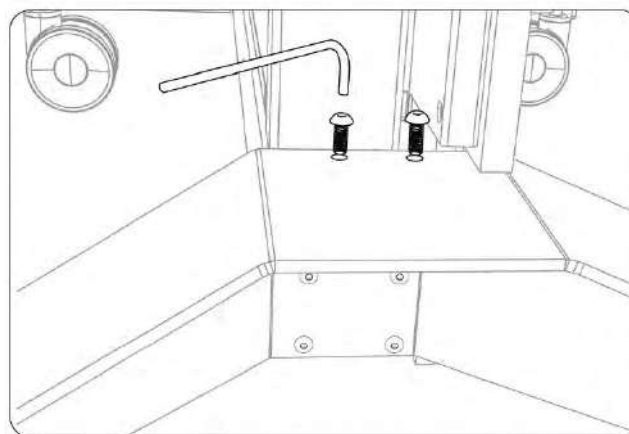


脚部の取り付け ※2名必要です

一人が脚部を保持しておき、もう一人が「D」スクリューを締め付けて行います。
脚部には長い側と短い側があり、長い側でキャスターブレーキが付いている脚がユニット前側になるようにしてください。



スタンドに脚部をしっかりと取り付けたことを確認し、二人でスタンドを立ててください。



片脚ごとに、Dスクリューを5本使用します。
5本目のネジは、上図のように脚部上側で締め込みます。

ディスプレイの取り付け

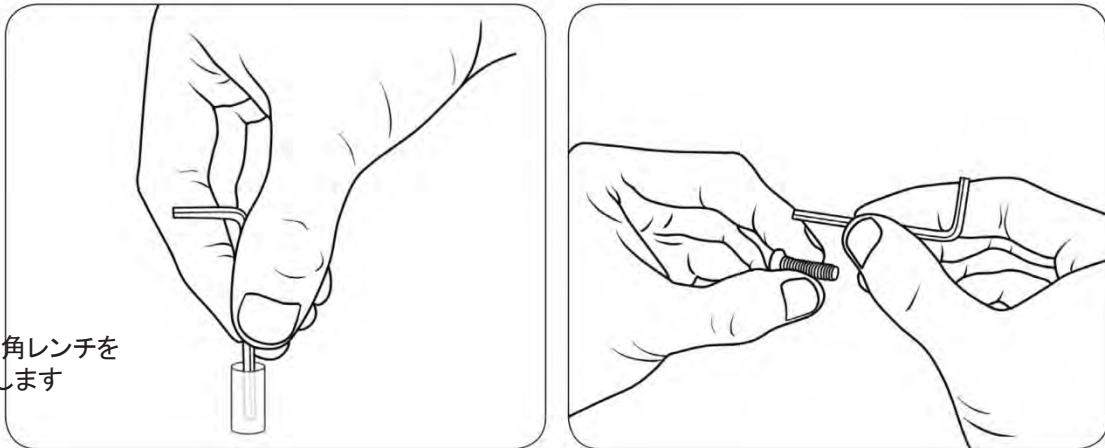
金具の取り付け方法

ネジを入れる前に、ディスプレイ側のねじ穴の深さを確認します。

穴よりも長いスクリューを取り付けると、ディスプレイ本体を損傷させることがあります。

深さを確認するには、六角レンチを穴に入れ、深さのところで印を付けます。この長さで使用するネジを比較の上、深さが十分であることを確認してください。

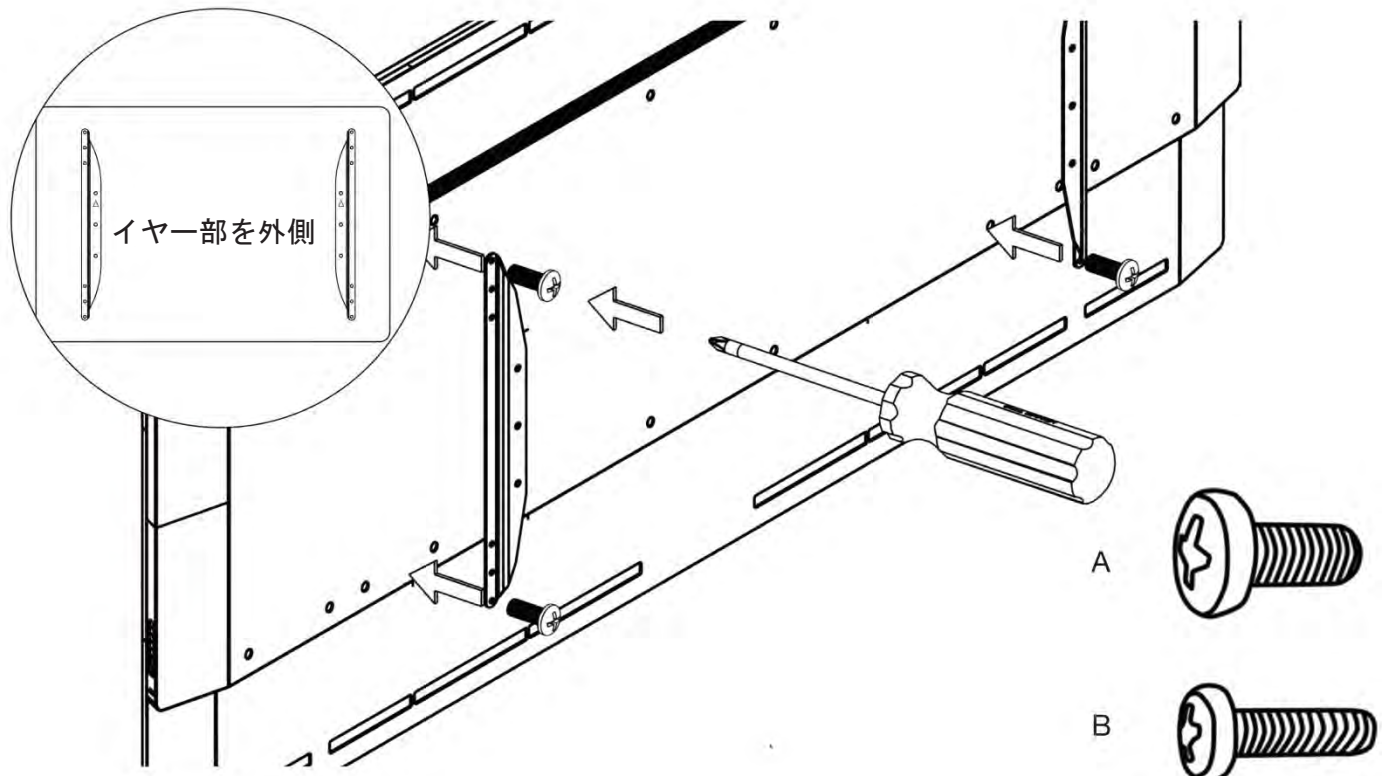
「I」六角レンチを使用します



図のように、付属のプラススクリュー(AまたはB)、あるいはディスプレイ製造者の指定したスクリューを使用し、インターフェース取付金具(J)をディスプレイに取り付けます。

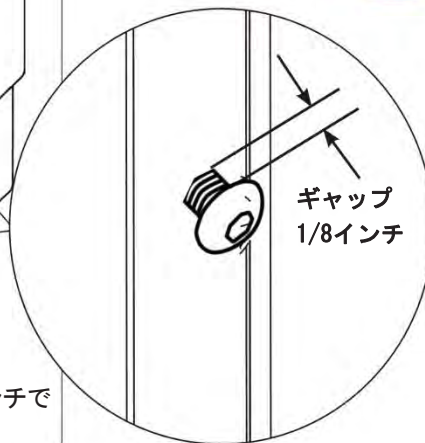
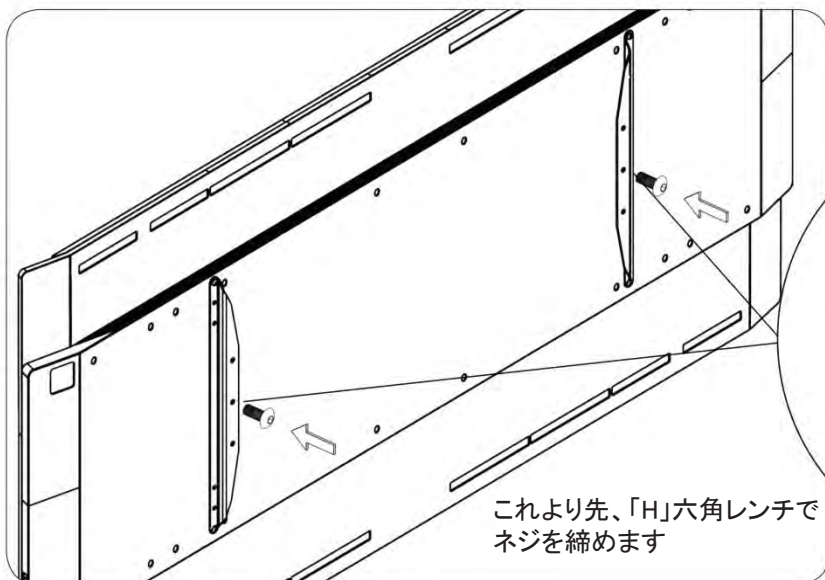
先に手で仮締めして、ネジ山と深さが適切であることを確認してください

注: ディスプレイ金具は、図のように「イヤー部分を外側」にして取り付けます

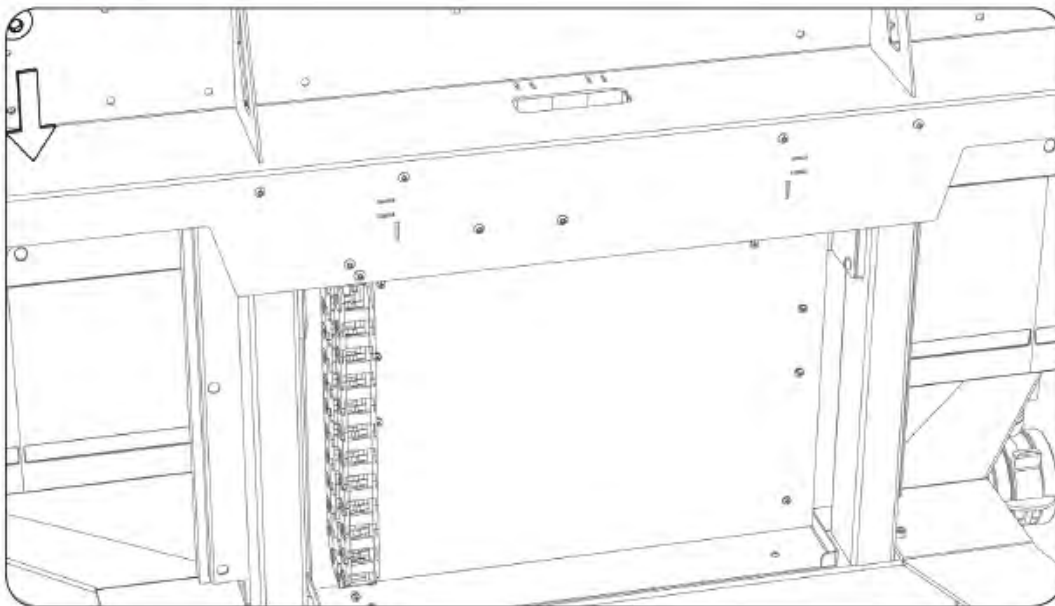


スタンドへのディスプレイの取り付け ※2名必要です

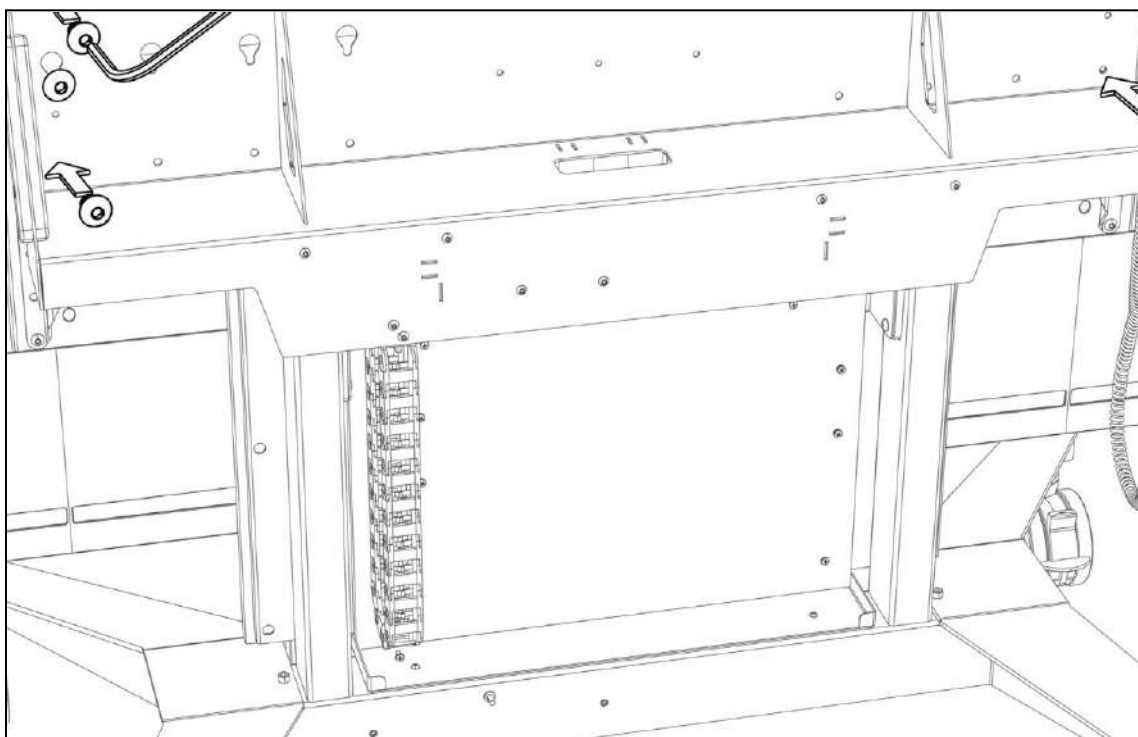
各ディスプレイ金具の中央に1個「C」スクリーを仮止めします。
これは、次の作業での位置決めスクリーになります。



ディスプレイをスタンドに取り付ける際は、必ず2人で作業してください。
ディスプレイ本体を支えながら、位置調整用ネジを「ダルマ穴」に落とし込んでください。



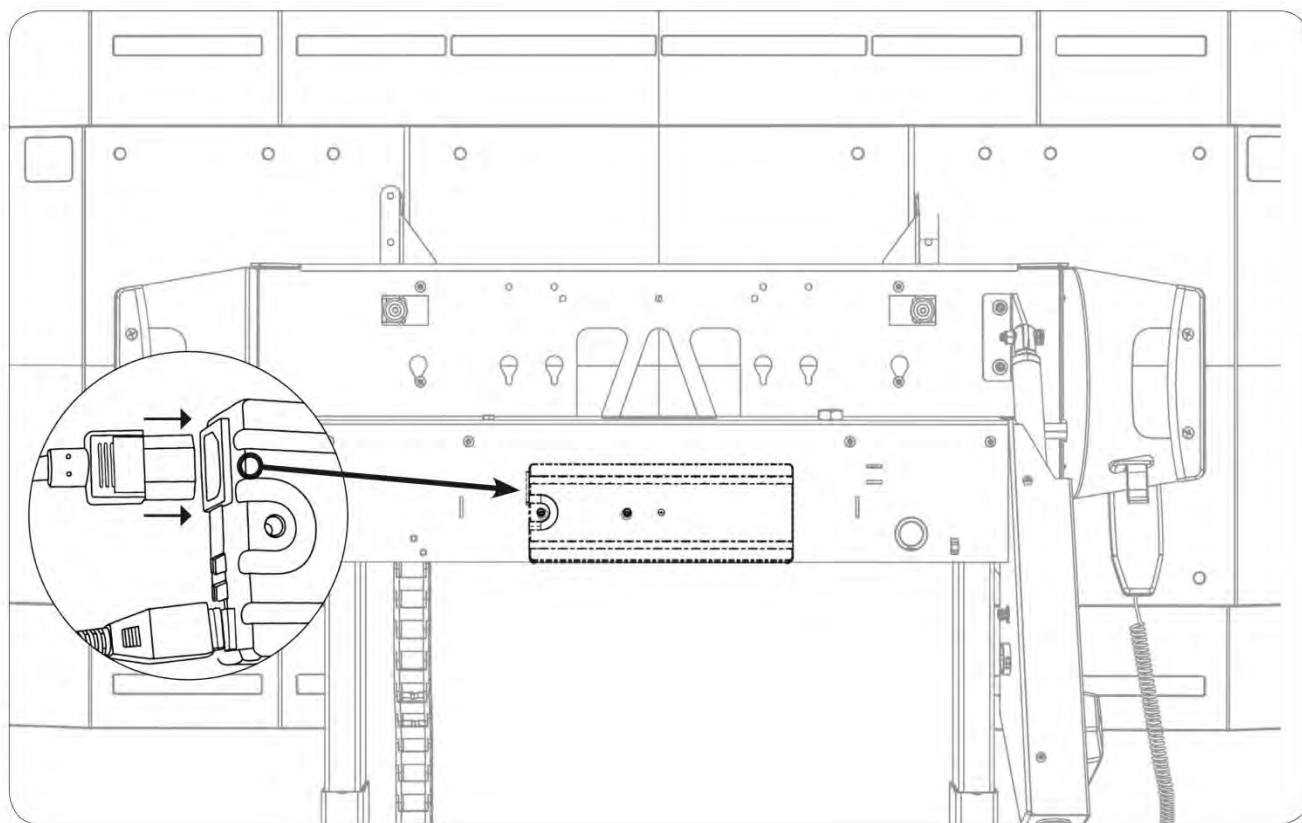
ダルマ穴に落とし込んだらすぐに、上下ネジ穴に(4)Cスクリーで取付け金具を固定します。



電源の接続

コントロールボックスは、ヘッダーの後ろ側に配置されています。

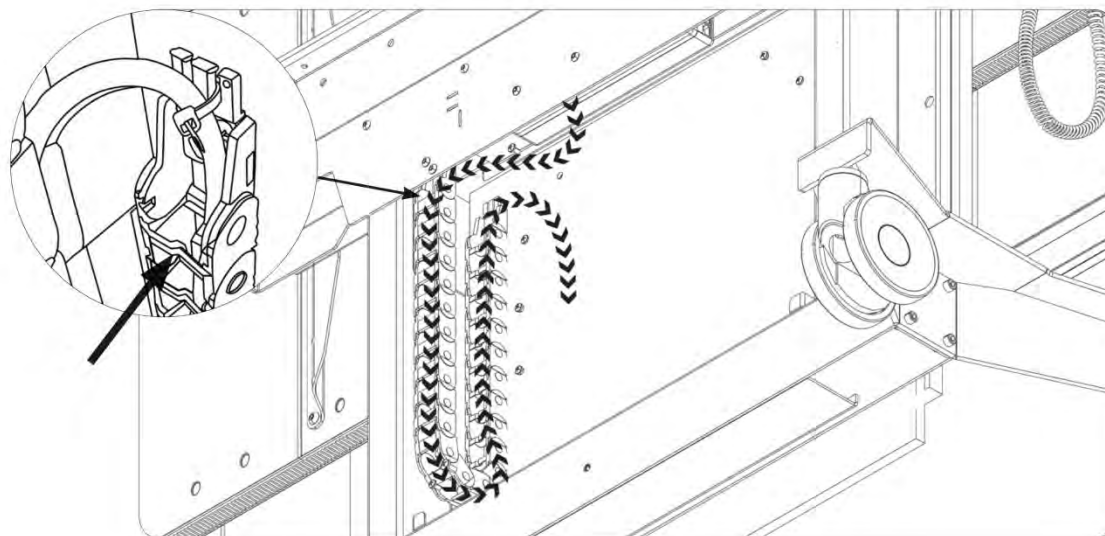
下の図のように、電源コードをコントロールボックスに差し込んでください。



ディスプレイからスタンドへのケーブルの取り回し

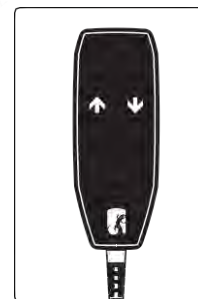
ケーブル類は丁寧に扱ってください。ケーブルタイを使用して、配線が挟まらない位置に固定してください。

- ディスプレイ背面とスタンド前面の穴の間にケーブルを通します。
- ケーブルチェーンにケーブルを入れ、チェーン内側のフィンガーキーパーを通して押し込み、矢印の方向に通します。



操作: リモートコントロール

- 「下向き」ボタンを押したままにすると、ユニットが初期化されます。
- 「上向き」ボタンを押すと、ディスプレイが上がり、プレゼンテーションモードになります。
- 「下向き」ボタンを押すと、ディスプレイが下がり、移動モードになります。



トラブルシューティング

- 電源コードが電源部に確実に差し込まれているか、再確認してください。
- 「下向き」ボタンを数秒間押したままにして、ユニットをリセットしてください。
- トラブルシューティングと修理についての詳しい情報は、この説明書の4ページに記載されています。



SALAMANDER
DESIGNS

業務用ディスプレイスタンド及びマウントの限定的保証に関するお問い合わせ先

SALAMANDER DESIGNS社 正規輸入代理店:
株式会社ケイアイシー
〒160-0022東京都新宿区新宿1-28-11
TEL: 03-3357-4839 営業企画課